

平成29年8月18日
消 防 庁

「大規模自然災害に伴う浸水区域における救助技術の 高度化に関する検討会」の開催

浸水区域における救助活動の充実を図ることを目的として、「大規模自然災害に伴う浸水区域における救助技術の高度化に関する検討会」を開催し、浸水区域での救助活動を安全かつ迅速に実施するための活動要領等について検討を行っていくこととしましたのでお知らせします。

1 背景・目的

近年、気象変動等の影響により、各地で豪雨災害が頻発しています。多くの都市が平野部に位置する我が国では、局所的な豪雨等により多くの浸水被害が発生し、また、都市部では地下鉄や地下街などの地下空間への浸水被害も懸念される中、浸水区域における災害は大規模・多様化することが予測されます。

浸水区域での救助活動は、陸上での活動に比べ、二次災害の危険性が高く、劣悪な環境での活動となる上、特殊な救助手法が求められます。

このため、各消防本部の対応状況等について現状分析を行います。また、これまでの実災害において培った経験や教訓を踏まえ、安全かつ迅速な救助活動を実施するための活動要領等について検討を行います。

2 検討事項（予定）

- (1) 浸水区域における救助活動要領
- (2) 安全管理要領
- (3) 先進的・効果的な資機材の導入
- (4) 訓練方法・研修機関等の提示

3 スケジュール

第1回検討会を平成29年8月29日（火）に開催する予定です。

4 委員

別紙のとおり



<連絡先>

消防庁国民保護・防災部参事官付

担当：布川補佐、松浦係長、堀木事務官

電話 03-5253-7507(直通)、FAX 03-5253-7576

大規模自然災害に伴う浸水区域における救助技術の
高度化に関する検討会委員名簿

(敬称略・五十音順)

【委員】

(学識経験者・医療関係者・関係省庁等)

- ・石垣 泰輔 関西大学環境都市工学部教授
- ・大友 康裕 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科救急災害医学分野教授
- ・小島 優 国土交通省水管理・国土保全局防災課災害対策室長
- ・小林 恭一 東京理科大学総合研究院教授
- ・竹林 洋史 京都大学防災研究所流域災害研究センター准教授
- ・西澤 賢太郎 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室長
- ・藤原 尚雄 一般社団法人ラフティング協会専務理事
- ・増田 克樹 海上保安庁警備救難部救難課長
- ・吉村 高寛 公益財団法人マリンスポーツ財団事業部長

(消防関係機関)

- ・五十嵐 潤一 東京消防庁警防部救助課長
- ・菊池 大介 北九州市消防局警防部警防課長
- ・斉藤 義恵 常総地方広域市町村圏事務組合消防本部警防課長
- ・下山 亮介 川崎市消防局警防部担当部長警防課長事務取扱
- ・早坂 和浩 仙台市消防局警防部警防課長
- ・林 達也 岡山市消防局警防課救助担当課長
- ・東谷 浩二 西宮市消防局警防部警防課長
- ・松崎 耕三 京都市消防局警防部消防救助課長
- ・吉田 堅一郎 全国消防長会事業部事業企画課長

【事務局】

消防庁国民保護・防災部参事官付